

観客の、観客による、観客のための“次世代映画祭”

# インディーズムービー・フェスティバル



「インディーズムービー・フェスティバル」は1996年、一人の自主映画監督との出会いとビデオレンタル店との出会いが、大きなきっかけとなり立ち上げられました。

2008年夏開催予定の「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2008」にて、10代目のグランプリ監督と「10人のサムライ監督」の発表をもって終幕する、「観客の観客による観客のための」次世代映画祭です。

一回の開催が約二年間（応募～予選審査～入選発表会～全国公開[8ヵ月間]～集計～ランキング発表会）を費やし観客が審査員となり「観客の観客による観客のための」まったく新しい形の次世代映画祭です。

全国から自主制作映画・映像作品を一般公募し、毎回、約500作品の中から審査、厳選した約40作品を本選出場作品として8ヵ月間、ビデオ化（第6回よりDVD化）および衛星放送（SkyPerfecTV）、ケーブルテレビ344局ネット（共に衛星劇場チャンネル）、BSデジタル放送（日本BS放送「知求チャンネル」）、インターネット放送（SoulNet Broadcast「しらせ」）、全国各地域での投票上映会などの各メディアで公開されます。

期間中観賞された方が審査員となり、DVDレンタル回数やセル予約投票、ハガキ投票、インターネット投票等による一般選考（投票）を総合的にポイント集計し、グランプリおよびランキングを発表しています。

卒業監督として、『DOWN TO HELL』にて第1回グランプリ受賞の北村龍平監督（『VERSUS』『あずみ』『ゴジラ FINAL WARS』）、『深夜臓器』にて第2回グランプリ受賞の山口洋輝監督（『グシャノピンツメ』『幻影回路』）他、今や商業映画の世界でも活躍する監督や映画人も多数存在します。

# インディーズムービー・フェスティバル 参加者(監督・役者・スタッフ・観客)関連データ

## 応募総数

※第1回～第10回IMF応募終了時点・2007年3月末日計算

**4,786作品**

## 入選総数

※第1回～第9回IMF終了時点・2007年8月計算

**355作品**

## 応募参加(出演・スタッフ)総数

※1作品につき平均8人が携わっている計算

**35,696人**

## 総得票(観客)数

※第1回～第8回IMF終了時点・2006年5月末日計算

**1,107,745人**

## 主な応募・卒業監督／映画人

多くの監督や出演者・スタッフがインディーズムービー・フェスティバルから巣立ち、商業監督や映画人となり活躍しています。

北村龍平／山口洋輝／山口雄大／榊 英雄／安田真奈／友松直之  
下村勇二／加納周典／中村 拓／小泉徳宏／葵 圭介 ……など

※敬称略、順不同 ※インディーズムービー・プロジェクト実行委員会調べ



そして、世界の舞台へ。



## 北村龍平監督『DOWN TO HELL』

第1回インディーズムービー・フェスティバル・グランプリ受賞  
IMP援助作品(\*)として『VERSUS』でデビュー

### IMP援助作品『VERSUS』 受賞・出品歴

- 東京国際ファンタスティック映画祭2000
- ジェラルメル国際ファンタスティック映画祭2001(フランス) ※ワールドプレミア上映
- ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2001 ※千葉真一賞、ファンタランド女王賞受賞
- CINEASIA映画祭2001(ドイツ) ※オープニング上映作品
- JAPAN FILM FESTIVAL(ドイツ) ※オープニング上映作品
- 日本インディペンデント映画祭 ※優秀監督賞受賞
- ローマ国際ファンタスティック映画祭(イタリア) ※最優秀監督賞受賞
- トロント国際映画祭(カナダ) ※ミッドナイトマッドネス部門、オープニング作品 ※北米プレミア上映
- シッチェス国際ファンタスティック映画祭(スペイン) ……他、多数出品!!



### 北村龍平(キタムラ・リュウヘイ)

1969年5月30日生、大阪府出身。17歳でオーストラリアへ渡り、スクール・オブ・ビジュアル・アーツ映画科に入学。帰国後、1995年に映像集団ナパームフィルムズを結成、自主制作映画『DOWN TO HELL』が第1回インディーズムービー・フェスティバルでグランプリを受賞。2001年、IMP援助作品『VERSUS』にて世界中を圧巻。その後、『あずみ』『ゴジラFINAL WARS』等を監督。2007年には遂にハリウッド進出作品第一弾を制作開始。

## 山口洋輝監督『深夜臓器』

第2回インディーズムービー・フェスティバル・グランプリ受賞  
IMP援助作品(\*)として『グシャノピンヅメ』でデビュー

### IMP援助作品『グシャノピンヅメ』 受賞・出品歴

- モンテリオール・ファンタジア国際映画祭 グランドブレイカーアワード 銀賞受賞 ●バンクーバー・シネミュエルテ映画祭 正式招待 ●ロンドン・レインダンス映画祭正式招待 ●釜山国際映画祭特別上映 ●ボストン・ファンタスティック国際映画祭正式招待 ●ブリュッセル国際ファンタスティック映画祭正式招待 ●フランクフルト日本映画祭正式招待●香港フィルムマーケット 正式上映 ●シンガポール・ファンタスティック映画祭正式招待●エジンバラ・デッドバイドーン国際ホラー映画祭正式招待 ●ブチオン国際ファンタスティック映画祭正式招待●ミュンヘン・シュツットガルト・ケルン・ベルリン ファンタジーフィルムフェスト正式招待 ●ウメオ国際映画祭正式招待●ルンド国際ファンタスティック映画祭正式招待 ●第19回イギリス・リーズ国際映画祭正式招待●イタリア・トリエステ サイエンス・プラス・フィクション国際ファンタスティック映画祭正式招待 ●ポルトガル・ポルト第26回オポルト国際映画祭 ファンタスポルト正式招待 ●ハーブサル・ホラー&ファンタスティック映画祭正式招待(エストニア、2007年3月22~25日) ……等

### 山口洋輝(ヤマグチ・ヒロキ)

1978年8月22日生、京都府出身。立命館大学文学部卒。自主映画制作集団、立命館大学映画部第39代部長。1997年、大学1年生より映画制作を開始。19歳で監督した2作目『深夜臓器』が「第2回インディーズムービー・フェスティバル」の二代目グランプリを受賞。2003年、初の劇場用作品「グシャノピンヅメ」完成。2004年から次々と海外の国際映画祭からの招待を受け非常に高い評価を得る。世界中で配給を開始続けている。



# CHALLENGER BECOMES A "HERO"

インディーズムービー・フェスティバルの歴史／終幕までのスケジュール



- 1996年01月 インディーズムービー・プロジェクト実行委員会立上
- 1996年09月 「第1回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 1997年06月 全国ビデオレンタル店「TSUTAYA」にてレンタル投票スタート
- 1998年10月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット1998」 in 東京  
※北村龍平監督『DOWN TO HELL』グランプリ受賞  
「第2回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 1999年09月 「第3回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 2000年07月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2000」 in 東京  
※山口洋輝監督『深夜臓器』グランプリ受賞  
※IMP援助作品・北村龍平監督『VERSUS』 プレミア上映  
★プロジェクト協力：Panasonic
- 10月 「第4回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 2001年01月 「インディーズムービー・フェスティバル・プレサミット2001」 in 大阪
- 03月 「インディーズムービー・フェスティバル・プレサミット2001」 in 福岡

- 2001年07月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2001」 in 東京  
※加納周典監督『wolf・ish』グランプリ受賞
- 10月 「第5回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 2002年07月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2002」 in 東京  
※林田賢太監督『東京フリーマーケット』グランプリ受賞  
※IMP援助作品・山口洋輝監督『グシャノピンヅメ』 プレミア上映
- 10月 「第6回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 2003年04月 「インディーズムービー・フェスティバル・プレサミット2003」 in 京都
- 06月 「インディーズムービー・フェスティバル・プレサミット2003」 in 名古屋
- 08月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2003」 in 横浜  
※中村 拓監督『インマイマインド』グランプリ受賞
- 10月 「第7回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 2004年08月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2004」 in 東京  
★協力：Panasonic Center
- 10月 ※ジョセフ・ウォン監督「ワーホリ・デイズ」グランプリ受賞  
「第8回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 2005年07月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2005」 in 東京  
※葵 圭介監督『ガラクタノココロ』グランプリ受賞
- 10月 「第9回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 2006年08月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2006」 in 東京  
※樽沢勇紀監督『月桂哀歌』グランプリ受賞
- 2007年01月 「第10回インディーズムービー・フェスティバル」スタート
- 06月 「インディーズムービー・フェスティバル・プレ・サミット2007」 in 新宿
- ★8月 「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2007」 in 松山
- 2008年夏期 「インディーズムービー・フェスティバル・  
ファイナルサミット2008」 in ○○ ※開催場所は未定です  
★第10代グランプリ&10人のサムライ監督発表をもって終幕



# インディーズムービー・フェスティバルから、巣立って行ったタマゴ達。

## 第1回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：1996年9月1日～1998年10月  
応募総数：729作品／入選30作品

- 北村龍平** 『DOWN TO HELL』 **グランプリ**  
→IMP援助作品『VERSUS』 **全国公開**
- 大月奈都子 『小狂い天使』 準グランプリ  
佐藤懐智 『「殺し屋、リィ。」』 準グランプリ  
梶田征則 『上六下八 ジョウロクゲハチ』 スターチャンネル賞  
木村英樹 『L & D』 短編特別賞  
柿島哲史 『旋風剣無頼控 —首斬らずの陣内—』  
榊 英雄 『R'unch Time』  
飯野 歩 『詭弁の街』  
川口良太 『真空回路』  
青池良輔 『STAGE』  
西山幸雄 『DANKON —ダンコン—』  
宮本 拓 『目覚めよと呼ぶ声あり』  
松本真葉 『日の丸グラフィティ』  
金井康史 『きままちゃんはあんたたちじゃないからのぼるのぼる』  
松本篤史 『アンテナ売り』  
安田真奈 『わや・ぶらぼー!』  
友松直之 『夏色浪漫』  
西出直登 『√5 (ルート・ファイブ)』  
明瀬礼洋 『映画怪獣G子ちゃん (総集編)』  
河田秀二 『中尾真司探検隊シリーズ』  
下村勇二 『今宵は感無良ナイト』  
坂本昭二郎 『来・訪・者』  
長江隆美 『SIDE B』  
鎌刈豊城 『Maybe Tomorrow～君のために～』  
村上清治 『星の家族』  
山口雄大 『ダサくて、エグくて、ズルいあいつら』  
木村利幸 『楽音』  
西村 潤 『Joker』  
星 健太 『ラージャシステム』  
池田正憲 『LOST SEED』



## 第2回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：1998年10月1日～2000年7月15日  
応募総数：993作品／入選18作品

- 山口洋輝** 『深夜機器』 **グランプリ**  
→IMP援助作品『グシャノピンツメ』 **全国公開**
- 宇都宮弘毅 『20日』 準グランプリ  
畑 泰介 『ハムスターの空』  
常廣丈太 『バアスティ』  
飯島 明 『フェイツ』  
草野陽花 『ともかの夢みたこと』  
石井友博 『闇の包丁、光の寿司』  
高木 誠 『すっぽん』 ※バンタン映画映像学院シード作品  
駒谷 揚 『フラッシュバックに気をつけろ!』  
佐藤懐智 『走馬燈屋の退屈』  
大西 悟 『moment of oness』  
宮本 拓 『砂丘の残像』  
志村 淳 『火と水のナポリタン』  
山口雄大 『ダサズル外伝マツぶらり旅』  
中村達也 『震電』  
下村元洋 『ある元恋人達の風景』  
デジタルハリウッドオムニバス DH Majors ※デジタルハリウッドシード  
『DIGITAL HOLLYWOOD STREAMS I』  
デジタルハリウッドオムニバス 99 Graduates ※デジタルハリウッドシード  
『DIGITAL HOLLYWOOD STREAMS II』

## 第3回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：1999年9月1日～2001年7月22日  
応募作品総数：493作品／入選48作品 (一般部門30作品、TANPEN部門18作品)

- ▼一般部門
- 加納周典 『wolf・ish』 **グランプリ**  
梅崎雄三 『根牙』 準グランプリ→IMP援助プロデュース作品『INGA!』  
うえたかつひこ 『御茶と麦酒』  
坪井 健 『青の詩』  
長尾謙二 『JOKER』  
三村泰洋 『仰げば尊し』  
藍河兼一 『PENPAL』  
堀井 彩 『忘れられない女』  
林田賢太 『サマージャンボ』  
岡山太郎 『タクハイ死人』

- 鷺見伸介 『NEZI』  
竹内知子 『ブレインハンティング』  
小山保徳 『ブリキの鼓動』  
古田剛志 『極東謀報戦線』  
伊藤秀隆 『SCAR —新 四谷怪談—』  
対馬 昭 『新選組悲歌 令(おきて)』  
鈴木志帆 『16°』  
鷺山陸子 『THE ORDINARY LIFE OF TOTALLY PSYCHO』  
高島 章 『エナメル足の音』  
新井澄司 『あけぼの荘殺人事件』  
植田 尚 『はっぴい義賊』  
国生浩久 『サバイバルゲーム』  
沖 竜市 『ドラゴン マーケット』  
駒谷 揚 『チャーリーを撃つなら俺を撃て!』  
木村好克 『ヒゲCLOTHING』  
那珂静男 『隙間』  
山口洋輝 『ハテナイタメイキ』  
津田佳也 『凶手 BLOODY ARMS』  
安田真奈 『イタメシの純和風』  
飯塚 健 『Look'n for』 ※バンタン映画映像学院シード作品

### ▼TANPEN部門

- 西田啓太 『駒奴 —コマンド—』 **グランプリ**  
新井澄司 『re-st@rt』  
野口康一 『Syo SyoN ～シヨシヨN～』  
元川達也 『BOX』  
後藤紀幸 『いずれ得る光』  
大西 悟 『Quiet Landing』  
岩松 顯 『オ・ハ・ヨ』  
谷 大将 『あの向こう側へ』  
那賀島康晃 『手と卵』  
坂本サク 『摩訶不思議』  
五藤利弘 『逢いたくて』  
山口雄大 『ころし日和』  
細野牧郎 『夢みるユカタン』  
小久保美乃亜 『無限の力 ～INFINITE POWER～』  
奥村悠気 『匂う女』  
小山寛史 『PORTRAIT』  
後藤紀幸 『海底の雫』  
岡本泰之 『にこにこ女』



# インディーズムービー・フェスティバルから、巣立って行ったタマゴ達。

## 第4回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：2000年10月1日～2002年7月27日  
応募作品総数：451作品／入選55作品  
(一般部門32作品、TANPEN部門18作品、CG部門5作品)

### ▼一般部門

林田賢太 『東京フリーマーケット』グランプリ  
→IMP援助作品『ブリュレ』  
駒谷 揚 『PASSPORT』準グランプリ  
運天寛子 『二丁目ココアガール』  
中村 拓 『Dream After Dream』  
近藤啓二 『Holy+Dog』  
D Hwang 『KNOCK』※韓国IMP実行委員会シード作品  
木津俊彦 『想の在り処』  
武田 晃 『FRESH』※バンタン映画映像学院シード作品  
堀井 彩 『東京女』  
斉藤成史 『MAYBE TOMORROW』  
稲葉伸之介 『ナニタ』  
藤橋 誠 『ファミリースタンド』  
スージュン 『tameiki』  
森 義隆 『カル』  
坂本光司 『Rebirth』  
佐藤慶紀 『Drop In Earth』  
白川幸司 『ファスナーと乳房』  
小西良明／吉田康弘 『祭りのあと』  
片岸寿文 『影女』  
Koby Shimada 『BE HONEST』  
大橋家 『後天性衝動症候群～地球人限定～』  
森川健太郎 『暴れて、おっ死ね』  
石毛佳季 『現金に手を出すなら体を張れ』  
笠木 望 『きみのジャージはどこ』  
藤原貴史 『DRYHIGH』  
橋樹陽児 『挙げ句の果て』  
小篤展之 『LOOTS』  
柳場浩喜 『THE TOILET PAPER』  
北方謙二 『僕たちよ』  
賀川貴之 『甘い分身 differentia』  
田島 修 『石猿孫悟空』  
坂本保範 『Will 1/2』

### ▼TANPEN部門

村上 崇 『00's wolf Man』グランプリ  
松永大司 『招女』準グランプリ  
横尾茂紀 『ピエロの微笑み』

高根澤史生 『HOJIN 歩人』  
福島純子／竹内由美子 『隣の芝生』  
井本雄介 『少年領域』  
池田泰教／岩田勝巳 『カラエナ』  
坂本保範 『サッカーやろうぜ!』  
徳本直之 『アクセスアーストリップ』  
すぎうらつかさ 『Back Ground』  
大西 悟 『Unlimited Contrast』  
岡島喜和 『THE SONIN A BOX +』  
佐藤文樹 『ことほぎ続ける宇宙』  
山田光栄 『蘇去』  
月足栄一 『剥蝕空間』  
五島利弘 『たそがれて』  
林 勇気 『冬の溜息』  
新井澄司 『near』

### ▼CG部門

深野陽介 『SUNAGIMO』  
本塚浩一 『Graffiti Night』  
本塚浩一 『Pinball Mania』  
内田健介 『お空でデート～恥ずかしがりややりたがり～』  
岡 義隆 『Soul men』

## 第5回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：2001年10月1日～2003年8月1日  
応募総数：361作品／入選46作品 (一般部門27作品、TANPEN & CG部門19作品)

### ▼一般部門

中村 拓 『インマイマインド』グランプリ  
小出正之 『乾杯』  
構沢勇紀 『another』  
山下よしこ 『LUCKY STRIKE』  
岡本浩幸 『fa love supreme』  
中村 拓 『Rolling Stone』  
小泉徳宏 『文金高島田二丁目』  
芹田直幸 『CHICKEN RACE』  
藤井 徹 『Date!』  
香月達行 『3!1/2』  
山田英治 『春眠り世田谷』  
松川さやか 『帰ってきたあいつ』  
高田往彦 『ETSUO』  
田部宏太郎 『寄り道』  
小高和剛 『パンブキン☆ヘッド』  
藤原壮平 『LIVE』  
植松 淳 『ファロウ ーずっと一緒にー』  
野村充広 『ライブ ジャック ショウ』  
福谷 修 『レイズライン』

徳永富彦 『[cameRa]』  
佐々木顕 『オッドマンズ・ログ』  
宇田亮太 『あの日のように』  
藤橋 誠 『サイレントベル —silent bell—』  
今井 久 『晴れた日にパンツを干して...』※敗者復活シード作品  
野原ちひろ 『WIFE×WIFE』※バンタン映画映像学院シード作品  
Yoon Donghwan 『招待』※韓国IMP実行委員会シード作品  
Yu JaeWan 『Manga Mania』※韓国IMP実行委員会シード作品

### ▼TANPEN & CG部門

田中信行 『恋はタイムカプセルに乗って』グランプリ  
村川康敏 『Fruits Basket』  
太田 慶 『聖域』  
Loic Serot 『MA』  
河村まこと 『車輪の男』  
大西 悟 『Air』  
山田篤宏 『3 thieves』  
すぎうらつかさ 『Simple life』  
井岡 猛 『アニキとしょういちと田中』  
富永禎彦 『野球場』  
前田智広 『Re-Play』  
佐藤慶紀 『Once In a Life』  
湯本美谷子 『sabrina～幸福の黒幕～』  
武内樹一 『少年キンゾクバット』  
鶴岡幸治 『その男が俺に与える不安』  
杉村 慶 『バカ者ストリート』  
中山珊瑚 『キャビアガール』  
伊藤真由 『オバサンバ清掃娘』  
濱野良平 『太陽のケカレvol.1』※敗者復活シード作品

## 第6回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：2002年10月1日～2004年8月8日  
応募総数：374作品／入選41作品  
(一般部門25作品、TANPEN & CG部門16作品)

### ▼一般部門

ジョセフ・ウォン 『ワーホリ・デイズ』グランプリ  
多積正之 『夢の希地』準グランプリ  
山藤みほ 『ジェットカゼジェリー』  
関根雄二／清本一毅 『佐藤黒座敷』  
堀奈理子 『玉手箱を開けられない浦島太郎』  
shin 『CU2』  
田平衛史 『シノブゴコロ』  
梅山景央 『anfang』  
畑 泰介 『ヒロエ WHICH? プロジェクト』



# インディーズムービー・フェスティバルから、巣立って行ったタマゴ達。

## 第6回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：2002年10月1日～2004年8月8日  
応募総数：378作品／入選41作品  
(一般部門25作品、TANPEN & CG部門16作品)

### ▼一般部門

ジョセフ・ウォン 『ワーホリ・デイズ』グランプリ  
多積正之 『夢の希地』準グランプリ  
山藤みほ 『ジェットカゼジェリー』  
関根雄二／清本一毅 『佐藤黒座敷』  
堀奈理子 『玉手箱を開けられない浦島太郎』  
shin 『CU2』  
田平衛史 『シノブゴコロ』  
梅山景央 『anfang』  
畑 泰介 『ヒロスエ WHICH? プロジェクト』  
飯塚大志／三浦邦彦／ジェイソン・ギルバート

『SUPER JAP Trilogy』  
山本俊輔 『殺し屋たちの挽歌』  
斉藤規明 『白い落し物たち』  
佐藤安弘 『Smoking Sunday』  
向 陽 『八音盒』  
中山裕美 『カオルちゃん』  
清水雅人 『公務員探偵ホーリー2』  
志村健太郎 『すべからくするべからず』  
押鐘慎司 『宇宙計画』  
相川佳輝 『茅ヶ崎Y歌 よしじの夏』  
洞内広樹 『HEART DRIVER 2』  
濱口和正 『長男』  
藤橋 誠 『home』  
齋藤鋼児 『故郷 あの笑顔に・・・』  
中村 拓 『LAST JOKER』※敗者復活シード作品  
ソン・ジョンイル  
『サブウェイキッズ2002』※韓国IMP実行委員会シード作品

### ▼TANPEN & CG部門

山口 円 『もうちょっとでとなり』グランプリ  
石川登美二 『破壊の街のキツネと少女』  
吉木敏博 『LEAD』  
黒田 拓 『札幌ひみつ指令』  
HAMU 『屋上エレジー』  
沼口雅徳 『百怪ノ行列／浅草キケン野郎』  
小澤ともみち 『色即是色』  
奥田 寛 『vegetable RESTAURANT』

田村友一 『ものまね』  
月形 潤 『回転』  
大西 悟 『Ray』  
山田篤宏 『Unchained』※敗者復活シード作品  
森本智也 『やらはた』※バンタン映画映像学院シード作品  
坂井田俊 『乙女は羨む夢を見る』  
※バンタン映画映像学院シード作品  
ユン・ウンギョン／キム・ウンフ  
『ホモファベル』※韓国IMP実行委員会シード作品  
新井澄司 『ムラカミ』

## 第7回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：2003年10月1日～2005年7月30日  
応募総数：374作品／入選38作品  
(一般MOVIE部門20作品、TANPEN & CG部門18作品)

### ▼一般MOVIE部門

葵 圭介 『ガラクタンココロ』グランプリ  
TORICO 『ミガカガミ』準グランプリ  
山藤みほ 『ニセの虹』  
新井 拓・太田史郎 『ROCK'N ROLL GUNMAN』  
政成和慶 『我が青春のヒーロー』  
棚木和人 『武士道』  
兼崎涼介 『自殺キャロット』  
安井祥二 『青』  
厨子健介 『AGE37』  
教来石小織 『Cherry Night』

### ▼TANPEN部門

黒川正視 『UNTITLED』  
吉木敏博 『a vase 花瓶』  
西原一平 『The Dreaming Egg ゆめみるタマゴ』  
門脇匠彦 『ELECTRICS』  
井上真邦 『事故ってきたやつ』  
前田達也 『Tamagawa☆McQueen』  
武井修平 『MASK』  
高野雄宇 『MANEATER in the woods』  
清水隆弘 『7 & 8』  
辻下直美 『運筆』

## 第8回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：2004年11月1日～2006年8月25日  
応募総数：364作品／入選40作品  
(一般MOVIE部門20作品、TANPEN部門20作品)

### ▼一般MOVIE部門

梅沢勇紀 『月桂哀歌』グランプリ  
小田 学 『塩鮭』準グランプリ  
ムーチョ村松 『ダンカン』  
水落拓平 『車輪の上』  
吉川信幸 『Hello Horizon』  
マスダヒロユキ 『『或る、青い夜』』  
領02 『EVERYBODY ASSHOLES』  
内田雄樹 『∞回廊』  
厨子健介 『ハッピー カムカム』  
山下徹大 『花火師』

### ▼TANPEN部門

佐伯雄一郎 『DIMENSIONAL ESCAPE』 →グランプリ  
御茶漬海苔 『バスルーム』 →準グランプリ  
飛山拓也 『二日目～ワスレモノIII～』  
高田往彦 『亀吉VS. 大五郎』  
中山勇樹 『モダンレコーディングのマッドメン』  
阿知尚康 『あかんたれ』  
吉木敏博 『GOOD MORNING』  
大石健弘 『ハシリダストキ』  
原田光規 『永遠に、繋がって、いく』  
新生瑠人 『エンドレスワルツ』

## 第9回 インディーズムービー・フェスティバル

公募からグランプリ発表迄の期間：2005年11月1日～2007年夏  
応募総数：347作品／入選41作品  
(一般MOVIE部門23作品、TANPEN部門18作品)

2007年8月18・19日開催「IMF SUMMIT 2007 in 松山」にて  
9代目のグランプリ&最終ランキング発表！



# [IMF公式ホームページ (the-indies.com) / アクセス解析状況]

公開投票期間後半、サミット開催前には訪問者数が増加の傾向

年間合計: **7,891,576**HIT 月間平均: **657,631**HIT 1日平均: **21,620**HIT



▼公式ホームページへの「HIT (訪問) 数」実績▼

2006年度	月間HIT数	1日平均HIT数
1月	750,358	25,011
2月	537,059	17,901
3月 (11P参照)	753,683	25,122
4月	756,078	25,202
5月	748,026	24,934
6月	828,832	27,627
7月	736,411	24,547
8月 (12P参照)	779,512	25,983
9月	559,391	18,646
10月	557,125	18,570
11月	444,069	14,802
12月	441,032	14,701

※インディーズムービー・プロジェクト実行委員会調べ  
※実際の解析結果資料は、別添の11-12ページをご覧ください。  
※訪問者のアクセス状況の解析には、「Urchinシステム」を使用しております。

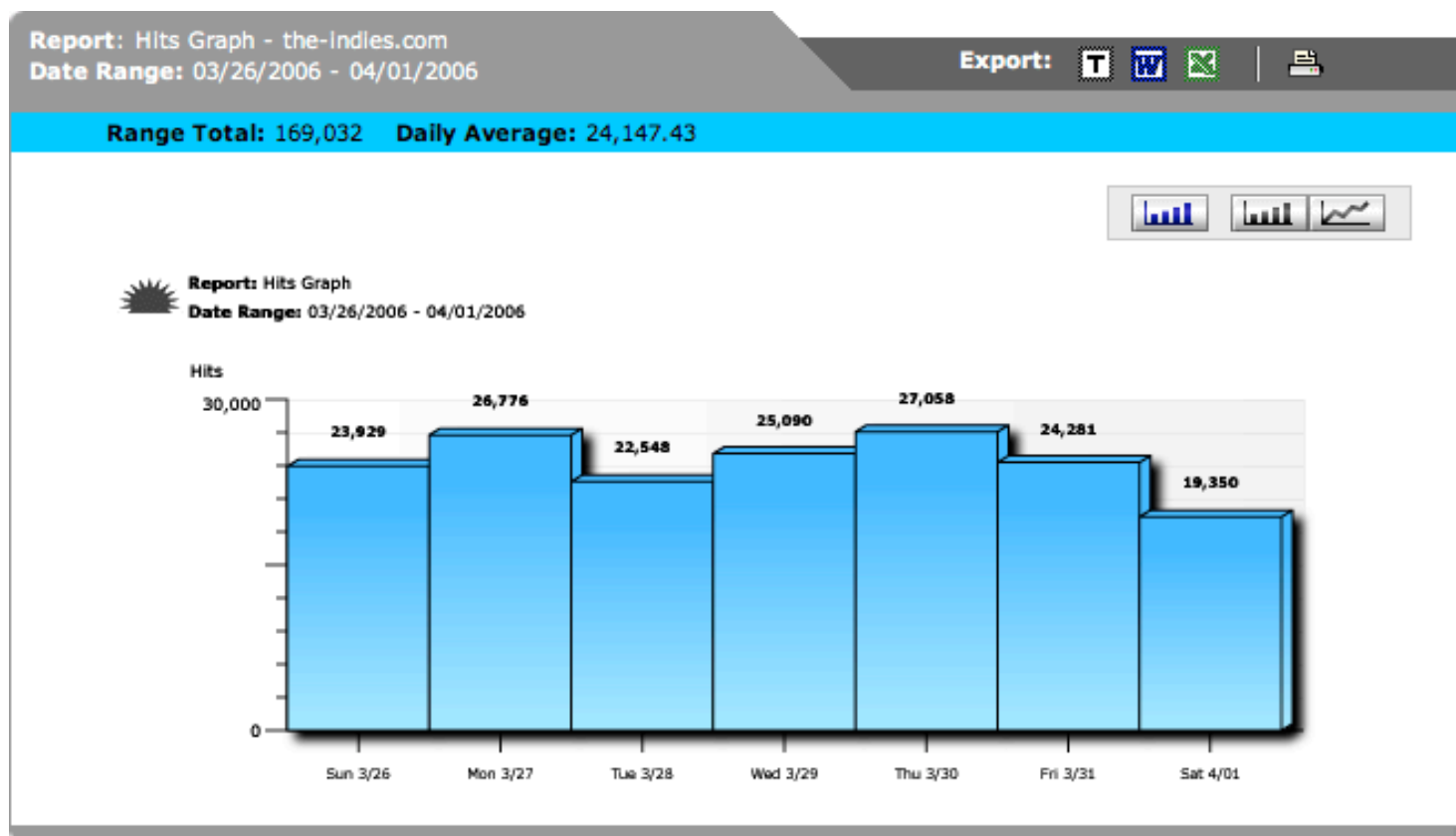
★「HIT (ヒット) 数」とは・・・★  
インディーズムービー・フェスティバルのホームページが、閲覧者によって訪問される (めくられる) 際に記録される数字のことを示します。





# [IMF公式ホームページ (the-indies.com) / アクセス解析状況]

2006/03/26 - 2006/04/01 「HIT(訪問)数」解析 <参考資料>



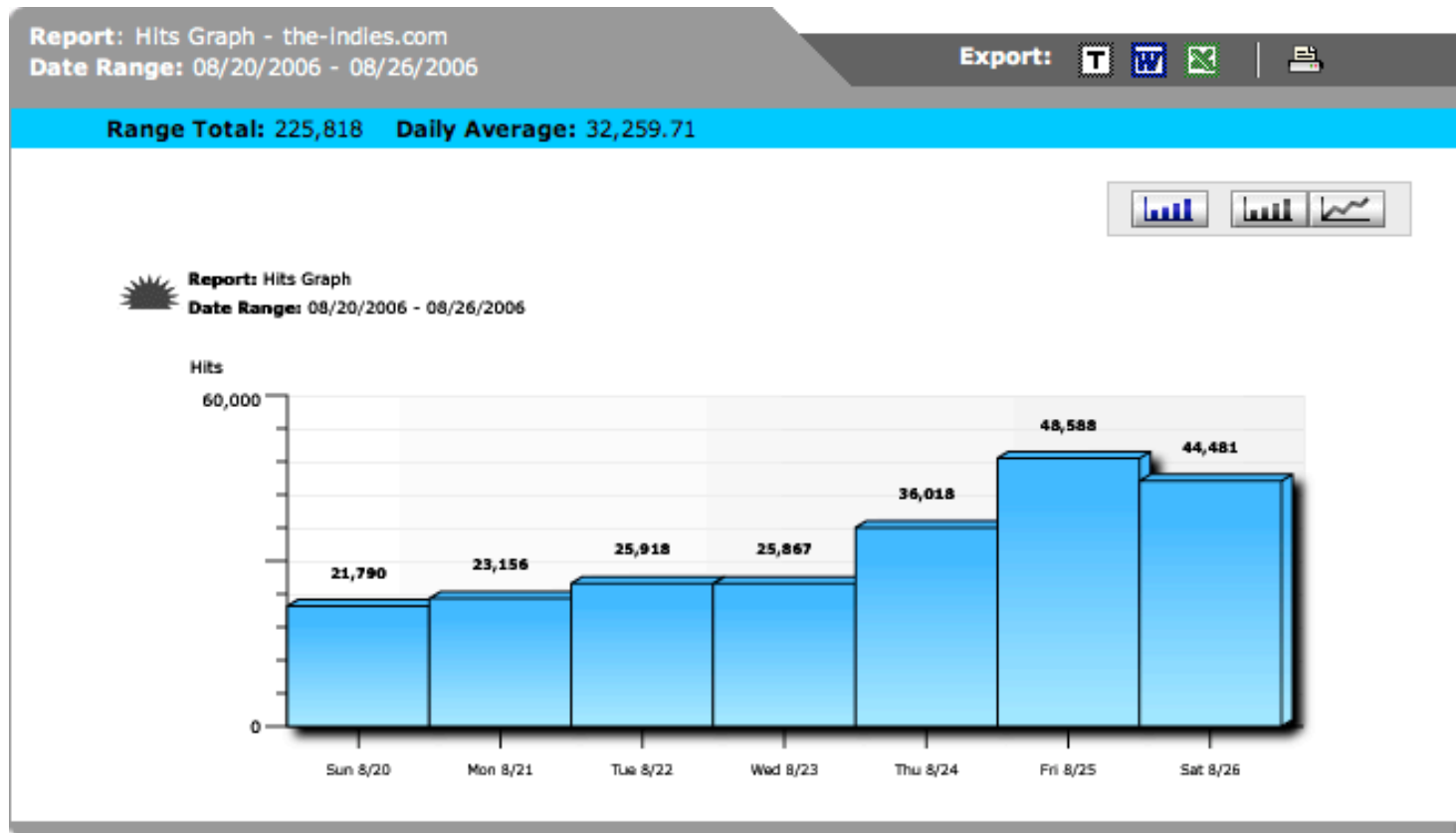
※インディーズムービー・プロジェクト実行委員会調べ ※訪問者のアクセス状況の解析には、「Urchinシステム」を使用しております。

★「HIT(ヒット)数」とは・・・★  
インディーズムービー・フェスティバルのホームページが、閲覧者によって訪問される(めくられる)際に記録される数字のことを示します。



# [IMF公式ホームページ (the-indies.com) / アクセス解析状況]

2006/08/20 - 2006/08/26 「HIT(訪問)数」解析 <参考資料>



※インディーズムービー・プロジェクト実行委員会調べ ※訪問者のアクセス状況の解析には、「Urchinシステム」を使用しております。

★「HIT(ヒット)数」とは・・・★  
インディーズムービー・フェスティバルのホームページが、閲覧者によって訪問される(めくられる)際に記録される数字のことを示します。

